



校章【五稜】

学校だより

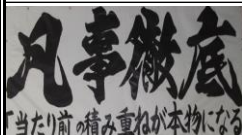
「チーム中部中」



五稜戦隊チュウブレんジャー

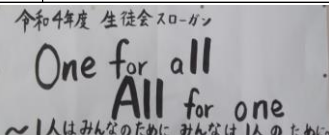
令和5年 1月号
No10

文責
平戸市立中部中学校
校長 甲斐田 彰



校訓：自主 規律 責任

学校教育目標：ゆたかな心情 たしかな学力 たくましい心身



【学習しやすい環境を整える】

いよいよ、令和5年が始まりました。去年は、サッカーワールドカップで盛り上がりましたが、今年は、野球の世界大会であるワールドベースボールクラシックやラグビーの世界大会が開催されます。きっと私たちに感動を与えてくれることでしょう。

1月10日（火）3学期の始業式が行われました。私の挨拶では、昨年亡くなったアントニオ猪木さんが病床からYouTubeで「本当の元気とは何か」を伝えてくれたことを紹介し、3学期は「責任」を意識した行動をとることを呼びかけました。（私の挨拶の全文は、ホームページでご覧いただけます。）

また、1年生の千北はづきさんと2年生の田淵莉穂さんが決意の言葉を述べてくれました。どちらの発表も3学期の始まりにふさわしく、意欲に満ちたものでした。

千北さんは「3か月後には新1年生が入学して先輩になるので、苦手教科を克服することと、新学習副委員長として、**学習しやすい環境を整える**ことを実行していきたい。」と張り切っていました。



【的確に判断し、理想の経路で避難】

1月24～25日は、十年に1度と言われる寒波が押し寄せ、全国各地で事故や被害が相次ぎました。平戸市は、比較的被害が少なかったようですが、それでも、水道管の凍結や破裂、交通事故などがありました。今後、大きな災害が起こる可能性は低くありません。

1月27日（金）「5時間目と6時間目の間の休み時間に火災が発生した。」という設定で、避難訓練を実施しました。今回は「避難訓練をします。」という告知は行っていたのですが、休み時間ということはあえて告げず、「教師がいない状態で、どのように避難をするのか。」を含めた訓練としました。

初めての試みでしたが、責任感のある学級委員の指示のもと、速やかに避難行動を取ることができました。3年生の濱本翔太郎さんは「突然の非常ベルにびっくりしましたが、みんな教室にいたので、落ち着いて避難することができました。一人の時に災害が起こった場合でも、状況を**的確に判断し理想の経路で避難**できるようになりたいです。」と述べてくれました。



【校旗の重さは伝統の重さ】

1月12日（木）生徒会役員任命式及び引き継ぎ式が実施されました。

生徒会長と副会長は校長が、それ以外の役員は生徒会長が任命をしました。任命状を受け取った新役員たちは、晴れやかな表情で、しっかりと「責任」を受け止めていました。

その後、前生徒会長と新生徒会長が挨拶をし、「校旗」と「ファイル」の引き継ぎを行いました。森崎前会長から「校旗」を引き継いだ松永新会長は「**校旗の重さは伝統の重さ**

だと感じました。これからは、私たちが責任をもって中部中学校を引っ張っていきます。」と力強く語ってくれました。



【自分の力を信じて】

1月16日（土）の鳳凰高校の推薦入試を皮切りに、九州文化学園、西海学園、佐世保実業、長崎日大などの入試が行われました。

そして、いよいよ2月1日（水）には公立高校の前期選抜検査が実施され、21名の3年生が受検します。前期選抜はほとんどの高校が基礎学力検査（60分で国語・数学・英語の3教科）と集団面接です。受検生諸君には、これまで学習や練習してきた成果を存分に発揮してくれることを期待しています。

鳳凰高校看護学科に合格を決めた前田すみれさんは「私は平戸を離れ寮生活になりますが、こつこつと勉強して、責任感のある看護師を目指します。みんなも、**自分の力を信じて頑張ってください。**」とこれから受検する仲間たちにエールを贈りました。

